

## コ 白馬リサイクルプラザ



### (1) 経緯

北アルプスエコパークの稼働に伴い、平成30年8月から大町リサイクルパークにおいて、資源物受入業務と処理業務を広域連合で開始しました。

また、令和3年4月からは、循環型社会形成推進地域計画に基づき、白馬リサイクルセンターにおいて、資源物等受入業務を開始し、旧白馬山麓清掃センターで行っていた業務を広域連合が引き継ぎました。

令和6年度には、リデュース、リユース、リサイクルの3R（スリーアール）に関する普及啓発・展示・情報発信等の促進を図る目的として、旧白馬山麓清掃センター跡地に白馬リサイクルプラザを建設しました。

### (2) 現状と課題

ごみの発生を抑え、資源化を継続していくため、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、プラスチックに係る資源循環の促進等を図る取組も加速させる必要があります。

このため、「白馬リサイクルプラザ」を3Rに関する普及啓発や展示、情報発信等を目的とし、白馬リサイクルセンターと一体的な施設として適正に運営・管理を行い、有効に活用する必要があります。

#### ■施設の概要

施設名称	施設規模	用途	供用開始
白馬リサイクルプラザ	床面積：136.74㎡	普及啓発 展示 ほか	令和7年4月（予定）

### (3) 今後の方針と施策

「環境負荷低減を目指した循環型社会を構築する」という広域化の基本理念のもと、自然環境に恵まれた観光地という地域の特性に配慮し、環境教育等の普及啓発活動の強化、住民・事業者等との協力体制の構築を進めます。

また、3市村との連携による、更なるごみの減量・再資源化を推進するため、リユース品の受入れや展示、学習会や研修会の開催のほか、屋外におけるフリーマーケット、バザー活動での利用など、環境活動の拠点として、施設を有効に活用いただけるよう適正な施設の運営・管理に努めます。



白馬リサイクルプラザ

#### ■SDGsの目標との関連

SDGs17の目標		関連目標
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	持続可能な生産消費形態を確保する	フードロスの削減と資源化による可燃ごみの削減
<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	可燃ごみの減量化によるCO2の削減(プラスチックの資源化)
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	資源化の推進 特にプラスチックの資源化推進
<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	食品ロスの削減 生ごみのたい肥化、不法投棄防止